

## 『中央大学 140 年のあゆみ 1885-2025』 の刊行について

Vol. 6

中央大学は2025年に創立140周年を迎えました。この記念すべき節目に、1885年の英吉利法律学校創立から現在に至る本学140年の歴史を1冊にまとめた『中央大学140年のあゆみ 1885-2025』を刊行致しました。『中央大学百年史』『タイムトラベル中大125 1885→2010』以来の周年史です。

本書は3部22章構成となっており、大学教員と附属校教員、資料館事務室嘱託職員が執筆しています（元教職員を含みます）。各部の解説では、それぞれの時代背景が紹介されており、本学の歴史を社会の動向の中に位置づけて理解することができます。

第1部では、18人の創立者による英吉利法律学校の創立とその後の展開が明らかにされています。明治期の近代法制度確立と本学の関係、大正・昭和期の旧制大学認可や戦時体制との関わりなど、草創期から戦中期までの本学の歴史がまとめられています。

第2部では、1949年の新制大学認可から1978年の多摩移転までの展開が明らかにされています。女子学生の誕生、体育科目の必修化とその変遷、1960年代以降の学生運動、1970年代後半の多摩

移転など、戦後から高度経済成長期までの本学の歴史がまとめられています。

第3部では、1990年代から現代に至る『中央大学百年史』以降の本学の動向が明らかにされています。1993年の総合政策学部設立、建学の精神とユニバーシティメッセージの策定、2010年代以降の都心展開や2019年の国際経営学部・国際情報学部設立などの新たな動き、近年の附属4校のあゆみ、新型コロナウイルス感染症とその対応など、本学の直近30年の動向がまとめられています。

巻末には2015年に始まった本学初の中長期事業計画「Chuo Vision 2025」が総括されており、本書を通して現在に至るまでの本学140年のあゆみを知ることができます。

本書は、本学生協での店頭販売に加えて、Amazonでもご購入いただけます。

[資料館事務室]

『中央大学 140 年のあゆみ 1885-2025』  
編集：中央大学大学史資料館運営委員会  
発行：中央大学出版部  
A5 判  
406 ページ  
2,310 円（税込）

